

インフルエンザ流行注意報発令中

～手洗い・咳エチケット等に努めましょう～

横浜市では、令和8年第37週（9月7日～9月13日）の全市集計において、インフルエンザ注意報発令基準（1定点医療機関※1 当たり1週間の患者報告数10.00人）を超え、「11.06」となりましたので、インフルエンザ流行注意報を発令しました。年齢別では、10歳未満の報告が全体の55.5%、15歳未満の報告が全体の74.1%となっています。昨年より1か月半程度早い注意報発令となっています。

市民の皆さま一人ひとりが早めに予防策を取りましょう。

※1 定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告する医療機関（市内90か所）

市内定点当たりの患者報告数

年・週	期 間	患者報告数（人）（※2）	備考
令和8年第34週	8月17日～8月23日	2.50	
第35週	8月24日～8月30日	3.91	
第36週	8月31日～9月6日	7.59	
第37週	9月7日～9月13日	11.06	注意報

※2 患者報告数は医療機関からの追加報告により、数値が変動します。

【参考】横浜市感染症情報センターWeb ページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>



インフルエンザにかからない、うつさないためのポイント



インフルエンザにかかったかもしれないと思ったときは

- ☐ 人混みへの外出を控え、無理をせず十分に休息をとしましょう。
- ☐ 高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど、具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- ☐ 乳幼児や高齢者、妊婦、免疫力の低下、基礎疾患のある方は特に重症化しやすいため、心配な場合は早めに医療機関を受診しましょう。

高齢者インフルエンザ定期予防接種について

□重症化予防のため早めに予防接種を受けましょう。今般のインフルエンザの流行状況を踏まえ、高齢者インフルエンザ定期予防接種は、接種体制が整った医療機関から前倒しで順次実施します。医療機関によりワクチンを用意できる時期は異なりますので、接種を希望する方は協力医療機関にお問合せください。

接種期間 令和8年9月下旬から令和8年12月31日（木）まで

対象者 横浜市内に住民登録があり、接種日現在で65歳以上の方 等

自己負担額 2,300円

協力医療機関 横浜市 Web ページから検索できます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/adult/koureiinflu.html>



※定期接種の対象者以外で予防接種（任意接種）を希望する方は、かかりつけ医等、直接医療機関へお問合せください。

【参考】厚生労働省 Web ページ 「インフルエンザ（総合ページ）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html



お問合せ先

（感染症対策全般について）医療局健康安全課長	竹澤	Tel 045-671-2442
（感染症発生動向について）医療局衛生研究所感染症・疫学情報課長	赤松	Tel 045-370-9279

横浜市インフルエンザ流行情報

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

流行注意報を発令しました

【第 37 週(9月 7 日～9月 13 日)の概況】

- ✓ 定点当たりの患者報告数※¹は、横浜市全体で 11.06 となり、流行注意報の発令基準 10.00 を超えました。
- ✓ 年齢別では、15 歳未満の報告が全体の 74.1% を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は、小学校を中心に 17 施設、患者数は 215 人です。

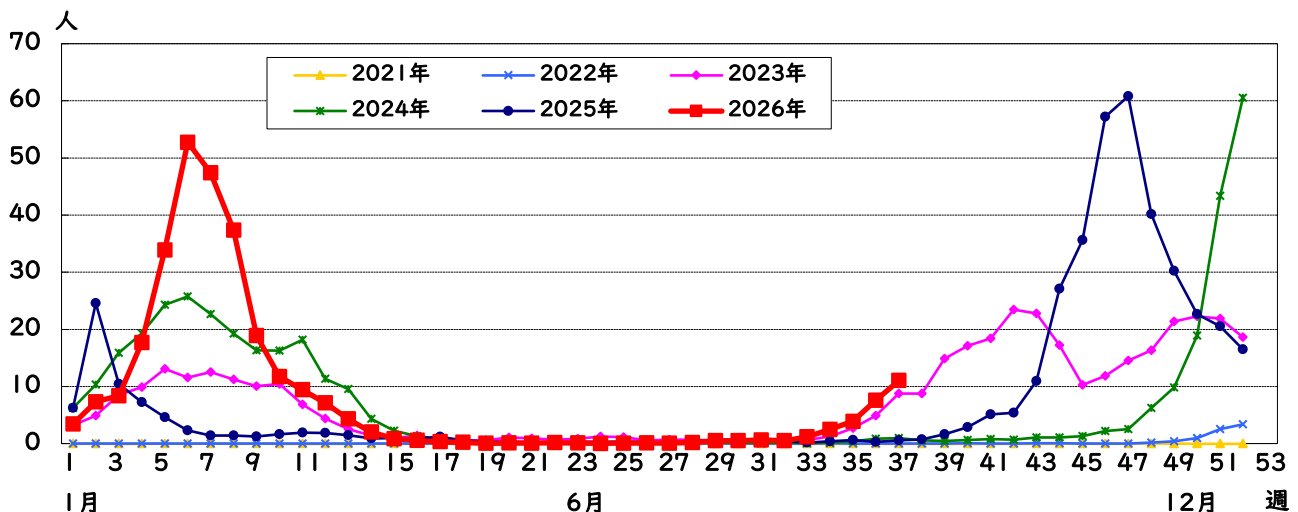
 咳エチケットや正しい手洗い※²等でインフルエンザを予防しましょう。

※¹ 定点当たりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 90 か所)から報告された患者数の平均値です。

※² [インフルエンザ\(総合ページ\)](#) | [厚生労働省](#) に、インフルエンザの予防方法等について掲載されています。

【市内流行状況】

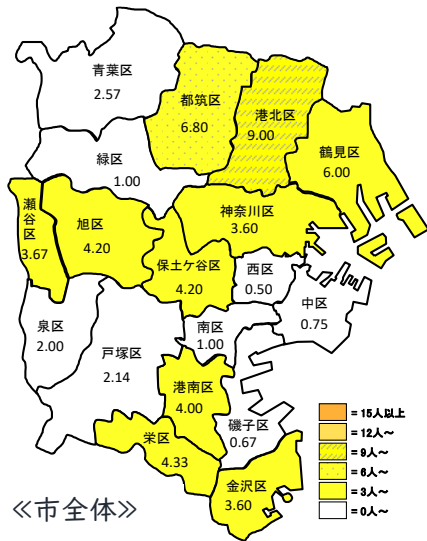
市全体の定点当たりの患者報告数は、第 33 週(8 月 10 日～8 月 16 日)に 1.17 となり、昨年に比べ、1 か月半程度早く流行期入りしました。第 37 週には 11.06 となり、流行注意報の発令基準(10.00)を上回りました。



【地図で表した直近 3 週間の区別流行状況】

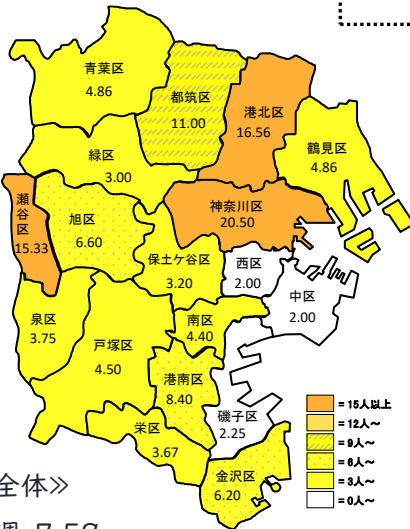
(塗り分けの数字は定点当たり報告数)

第 37 週の患者年齢構成は、10 歳未満が 55.5%、10 歳から 15 歳未満が 18.6%で、15 歳未満が全体の 74.1%を占めています。



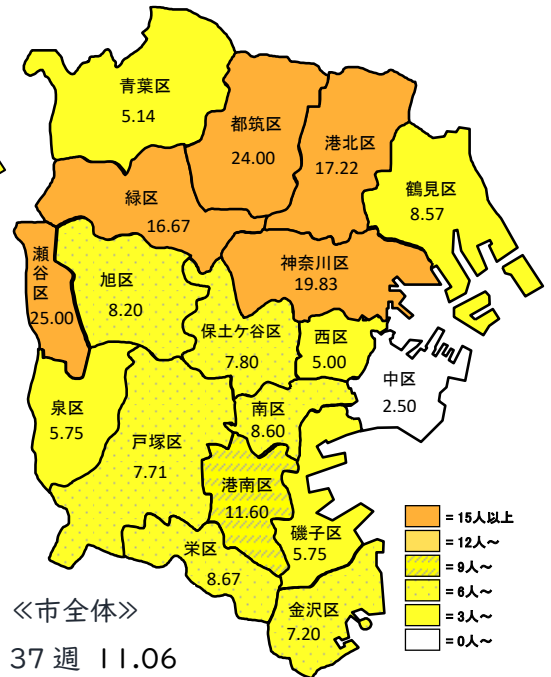
《市全体》

第 35 週 3.91



《市全体》

第 36 週 7.59

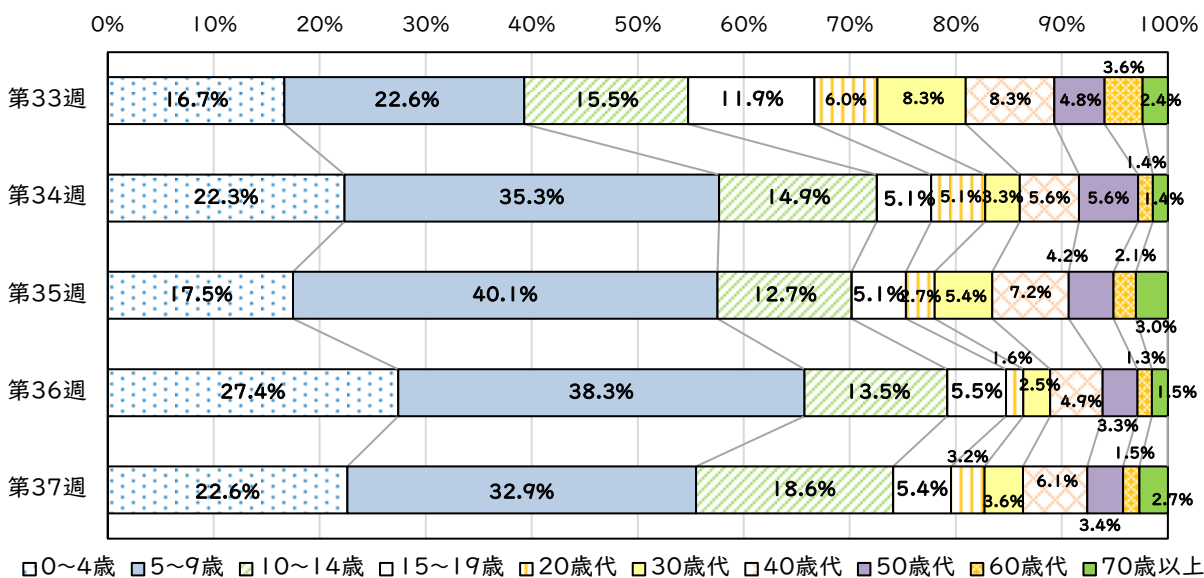


《市全体》

第 37 週 11.06

【年齢層別集計】

<年齢層別患者割合>



※ 小数点以下第 2 位を四捨五入するため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が 100%にならない場合があります。

【参考】

直近流行 (2025/26 シーズン) の流行推移

流行の開始【定点当たり 1.00 以上】

第 39 週 (2025 年 9 月 22 日～9 月 28 日)

流行注意報発令【定点当たり 10.00 以上】

第 43 週 (2025 年 10 月 20 日～10 月 26 日)

流行警報発令【定点当たり 30.00 以上】

第 45 週 (2025 年 11 月 3 日～11 月 9 日)

最新の感染症情報はこちら



横浜メディカル
ダッシュボード



衛生研究所
インスタグラム

【お問い合わせ先】

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課

TEL 045(370)9237

横浜市医療局健康安全課

TEL 045(671)2463